



午前6時30分にClassiで健康記録の報告を

9月28日、国は埼玉県に対する緊急事態宣言を、9月30日をもって解除することを決定しました。第5波といわれたこの夏、新型コロナウイルスの新規陽性者数は、7月20日には314人でしたが、8月19日には2,169人に至るなど猛威をふるいました。緊急事態宣言が解除されたからといって、油断は禁物です。小・中学校では登校の際に毎日の検温記録の提出を義務付けています。浦和南高校では生徒のスマートフォンに、毎朝午前6時30分にClassiを送信し、オンラインで健康記録「報告を義務付けています。私は毎日報告状況をパソコンで確認していますが、報告をしない生徒がまだまだいます。ご家庭でも報告をするようにご指導をお願いいたします。

再びの第6波を起こさないためには、一人一人の自覚が大切です。自分を守る、家族を守る、仲間を守るために、ご協力をお願いいたします。

粹なエスカレーターの乗り方へ

私は電車で通勤をしています。学校最寄りの北戸田駅や武蔵浦和駅で多くの南高生を見かけます。電車の中では、スマホを見たり、本を読んだり、英単語の勉強をしたりなど様々に過ごしています。

10月1日から埼玉県で施行される条例を、NHKニュースや読売新聞、朝日新聞、埼玉新聞などで取り上げています。それは「エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」。埼玉県は10月1日から、利用者はエスカレーターで歩かないように促すルールを導入します。罰則はありませんが、利用者には立ち止まって乗ることを義務付け、管理者には周知を求めている。片側を空けることが習慣化したことで、エスカレーターで人とぶつかるなどとし、怪我をすることを防ぐのが目的です。

私の記憶では、1980年代には埼玉県や東京都などの関東圏ではエスカレーターを歩く発想はなかったと思います。大学生の時に関西の友人がエスカレーターを歩くのを見て、「えっ、何を急いでいるのだろう」と思ったものです。いつの間にか、関東では左側立ち、関西では右側立ちが定着しました。片方空けが取り入れられたのは、1960年代に阪急電鉄の梅田駅が始まりとされているそうです。阪急電鉄が急ぐ人のために片側を空けることを呼びかけました。東京ではバブル景気だった1989年頃、東京メトロ新御茶ノ水駅で自然発生したとされているそうです。研究者は「日本における効率重視の歴史が片側空け文化をつくり出しのではないかと分析しています。

関東には「江戸しぐさ」の文化があります。江戸時代、江戸の町で人々が互いに気持ちよく暮らすためのルールができ、日常の立ち居振る舞いから言葉使いまで、「江戸っ子」といわれていた町民が使っていた所作全般を言います。この「江戸しぐさ」の根底には、日本特有の相手を思いやる心を形にしたものといえます。

例えば、「傘かしげ」とは、狭い路地ですれ違うときに傘がぶつかったり傘がかかったりしないよう、相手と反対側に少し傘を傾けること。この江戸しぐさは、公衆マナーですから法律のように「何々をしてはならない」というようなものには有りませんし、罰則があるわけでもありません。こうした気配りがさりげなくできるのが「粹（いき）な人」で、身につけていないのは「野暮（やぼ）な人」で格好悪いこととされました。エスカレーターでも、お互い、粹に過ごしたいものです。

【浦和南高校10月の予定】

- 10月 1日（金）…緊急事態宣言解除により通常登校へ移行
 - 10月 7日（木）…避難訓練
 - 10月 9日（土）…土曜日授業、学校説明会（午後）
 - 10月11日（月）…中間考査1週間前（部活動原則停止）
 - 10月18日（月）…中間考査（～20日）
- ※2年次・九州研修旅行（11月24日（水）～11月27日（土））